

「新型コロナウイルス感染拡大防止」に係る今後の対応について

日頃より、コロナ対策及び本校の教育活動へのご理解・ご協力に心から感謝申し上げます。

夏本番を目前に控え、報道等でも話題になっている「マスク着用」の件につきまして、本校でも着脱の判断を検討し、下記のとおりまとめましたのでご確認ください。

併せて、来週からは、給食準備や清掃時間などの異学年が交流する活動を、少しずつ通常の活動に近づけていきたいと考えています。まだまだ感染拡大に予断を許さない状況が続く中での取組となりますので、保護者の皆様のご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

記

1 学校生活におけるマスク着用について

マスク着用については、引き続き徹底していくべき基本的な感染対策の一つであり、これまでの学校衛生管理マニュアル等を変更するものではありません。以下の内容については、現在のマニュアル等の記載をより具体の場面に即して明確化したものとなりますので、ご理解ください。

【参考（各種通知文・事務連絡文書等）】	5/24 文部科学省「学校生活における児童生徒等のマスクの着用・・・」
5/20 厚生労働省「マスク着用の考え方及び就学前児の取扱い・・・」	5/25 文部科学省「マスク着用に関するリーフレットについて」
5/23 文部科学省「『新型コロナ・・・基本的対処方針』の変更等・・・」	5/26 宮崎県教委「学校におけるマスク着用について（文科省・・・）」

(1) 屋内での活動時

◆ これまで同様、原則マスクを着用します。

※ 屋内では、身体的距離（2m以上）を確保することが困難です。

【合唱】マスクを着用した上で、身体的距離（2m以上）を確保するようにします。

【体育（体育館）】運動内容や気温・湿度等からマスクを着用させるかどうか判断します。

特に配慮を要する活動

(2) 屋外での活動時

◆ 十分な身体的距離（2m以上）が確保できる場合は、マスク着用は必要ありません。

※ これからの時期は、熱中症等への対応を最優先します。

【体育】マスク着用は必要ありません。

→ できるだけ身体的距離（2m以上）が確保できるような授業を行います。

→ どうしても至近距離で活動したり、グループで話し合いをしたりする場合には、一時的にマスクを着用させることもあります。 【更衣（屋内）はマスク着用】

【集団登校や下校時】気温・湿度や暑さ指数に応じて、各自でマスク着脱の判断を行うように指導します。

\* 小学校低学年の子どもさんは、自己判断が難しいため、以下の点を考慮しながら家族で話し合っ、マスクの着脱についての約束事を決めておくとうよいと思います。

・ 家から学校までの距離……………【「遠い」場合 → マスクを外す】

・ 1列での集団登校……………【「できている」場合 → マスクを外す】

・ 一緒に帰る友達との身体的距離（2m以上）の確保

……………【「できている」場合 → マスクを外す】

【POINT】マスクを外した時には、①「身体的距離（2m以上）が確保できること」、②「会話を控えること」の2点を特に意識することが大切です。これができない場合には、マスクを着用する必要性が出てきます！

2 来週からの教育活動の見直しについて

来週（6月6日）から、これまで感染拡大防止対策として取り組んできた各種対応を、以下のように変更します。本来の形に近づけることとなりますので、これまで以上に個人の危機意識が大切になります。

対応項目	これまで（～6/3）	これから（6/6～）
検温カード	小カードを赤いケースに入れてランドセル横にぶら下げる。	「検温記録表」に記入し、学級担任に提出する。【検温記録表 = 水泳カードを兼ねる】
朝の検温カードチェックと手指消毒	下足棟前で、職員が直接カードをチェックしたり、手指消毒したりする。	教室で、担任が「検温記録票」を確認する。手指消毒は下足棟入り口で、セルフで行う。
1・2年生の給食準備	5・6年生が給食を教室まで運び、配膳は教職員のみで行う。	5・6年生が配膳まで行う。 ※ 従来の方に戻す。
清掃班の編制	清掃場所は、他学級の児童と交わらないように、学級単位で清掃場所を決める。	異学年の児童が協力して取り組む「縦割班での編制による清掃」を行う。 ※ 従来の方に戻す。
屋休みの運動場使用	使用時間を前半（20分）と後半（20分）に分けて、各学年の1組と2組を入れ替えて使用する。	特に制限等は行わない。 ※ 従来の方に戻す。